

2022年度・ゲノム編集食品に関するメディアセミナー

「ゲノム編集技術で生まれた『褐変しにくい長持ちレタス』は食品ロス削減にどこまで貢献できるか」～米国の開発会社・副社長に中継で聞く～

【褐変しにくいレタス】米国カリフォルニア州にあるバイオ企業「グリーンビーナス (GreenVenus) 社」がゲノム編集技術を使って、褐変しにくいレタスを開発しました。収穫後の保存可能期間は従来の2倍近く長持ちするレタスです。米国でも野菜などの食品ロス (food waste) が大きな問題になっていますが、このレタスによる食品ロス削減効果が期待されています。

そこで7月29日に同社副社長のジェフ・タッチマン博士 (写真右) をオンラインでお招きし、お話を聞くセミナーを行います。食品ロスの削減は、日本でも大きな問題になっていることから、農林水産省の担当者もお招きし、日本の食品ロスに対する農林水産省の取り組みについても、お話を聞きます。



オンライン形式ですが、米国本社と中継でつながっているため、直接、質問をすることもできます。米国のゲノム編集食品の最新情報を聞く貴重な機会です。是非ご参加ください。

<開催概要>

テーマ:「ゲノム編集技術で生まれた『褐変しにくい長持ちレタス』は食品ロス削減にどこまで貢献できるか」

主催: ゲノム編集育種を考えるネットワーク

共催: 日本種苗協会、バイオインダストリー協会、バイオテク情報普及会

日時: 7月29日 (金) 午前10時30分～12時

場所: オンライン視聴のみ

<プログラム>

司会進行: 笠井美恵子氏 (非特定営利活動法人植物工場研究会理事)

第一部講演: 森幸子氏 (農林水産省大臣官房新事業・食品産業部外食・食文化課食品ロス・リサイクル対策室長)。講演タイトル:「食品ロスの現状及び農林水産省における食品ロス削減対策」

第二部講演: ジェフ・タッチマン氏 (グリーンビーナス社副社長)。講演タイトル:「緑の革命の加速を目指して～なぜ褐変しにくいレタスを開発したのか～」

インタビュー: 小島正美氏 (元毎日新聞編集委員)

参加費: 無料

参加申し込み: ウェビナー参加を希望される方は、お名前 (名→姓の順で入力)、メールアドレス、会社名またはご所属を下記の URL よりご登録願います。

https://zoom.us/webinar/register/WN_FBs9olUwRt-dTzPoyHITsA

●ウェビナー参加登録が完了すれば、自動でウェビナー用 URL が参加者に送られます。
なお、グリーンビナス社と農林水産省の担当者に聞きたい質問がありましたら、事務局まで事前にお寄せください。当日のセミナーのインタビューに活用させていただきます。

※問い合わせ先：日本種苗協会（福田または林）まで、メールか電話でお願いします。メール送信先：seed@jasta.or.jp 電話：03（3811）2654